

5ルート6路線 肋骨道路の整備について 渡邊 一夫氏 × 宮本 正治氏

元県土木部長
(当時・県土木部道路建設課)

元県土木部技監兼検査指導課長
(当時・県土木部高秋土木事務所肋骨道路対策室)

いばらきの公共事業を紐解く



私は平成元年4月からの5年間、高秋土木事務所肋骨道路対策室に勤務しました。当時、国道6号から多賀山を抜く、国道349号を結ぶ2車線の道路はありませんでした。日立山方線は、1車線のトンネル(本山隧道)と急勾配で曲がった区間があり、大型車の交通や冬期の交通に非常に不便を2名で担当しました。この区間は、日立山方線の中でも最後まで残った未改良区間です。トンネルは、日立山の採掘坑道があった区域を通るので、なるべく旧坑道と遭遇しないよう線形が決められました。地質は大部分が日立変成岩の

間、掘り進むことにくず地質が変わるといって、非常に施工条件が悪いところでした。その他の路線は、推して知るべし。肋骨道路整備は5ルート6路線のうち、主要地方道であったこの2ルートの整備を重点的に行いました。私が最初に担当したのは日立山方線で、本山トンネルとその前後の道路整備を2名で担当しました。この区間は、日立山方線の中でも最後まで残った未改良区間です。トンネルは、日立山の採掘坑道があった区域を通るので、なるべく旧坑道と遭遇しないよう線形が決められました。地質は大部分が日立変成岩の

宮本 正治(みやもと まさはる) 1951年11月18日生まれ。71歳。初入行は78年、都市計画課に所属。その後、高速道路対策室長、道路維持課長を経て、2012年に土木部技監兼検査指導課長で定年を迎えた。現在は県職員当時の経験を活かし、(株)アイワ技研に勤務している。

昭和57年6月、私は道路建設課へ転勤になりました。県内の国道改良事業を、科学万博のための道路を全て取り仕切る、改良5ルートの一員になったのでした。県内の国道改良事業を、科学万博のための道路を全て取り仕切る、改良5ルートの一員になったのでした。県内の国道改良事業を、科学万博のための道路を全て取り仕切る、改良5ルートの一員になったのでした。

互層で掘り進むことにくず地質が変わるといって、非常に施工条件が悪いところでした。その他の路線は、推して知るべし。肋骨道路整備は5ルート6路線のうち、主要地方道であったこの2ルートの整備を重点的に行いました。私が最初に担当したのは日立山方線で、本山トンネルとその前後の道路整備を2名で担当しました。この区間は、日立山方線の中でも最後まで残った未改良区間です。トンネルは、日立山の採掘坑道があった区域を通るので、なるべく旧坑道と遭遇しないよう線形が決められました。地質は大部分が日立変成岩の

トンネル掘削工事こそ土木工事の花形だと思っている私にとって、この仕事を担い出来なかったことは非常に残念でした。事業は順調に進み、平成2年1月に無事完成しました。平成2年4月からは、高秋土木事務所の担当になりました。これは現道拡張区間(大能工区)を担当し、完成後にハイパス区間(中戸川工区)の担当になりました。この工区は約4kmで、花貫溪谷自然公園の特別区域を通ります。このため、自然環境の保全と景観への配慮が必要で、また北北山岳地帯であるため地盤が軟弱で、起終点の高低差も大きいことから、道路線形を決定する際には多くの苦労があったと記憶しています。私が担当になった時には、花貫溪谷沿いのルートとは異なるルートと、後任の担当は花貫第一、

第二の2つのトンネルや、花貫大橋等3つの橋梁、多くの法面工事を含む道路改良工事を竣工させ、平成9年2月には中戸川工区全体が完成しました。肋骨道路の整備によって、肋骨地域の道路事情は大きく改善されました。冬期の交通止めがなくなり、交通量も増えました。花貫溪谷では、汐見滝吊り橋がSNSなどの人気スポットとして取り上げられ、新緑や紅葉の季節には多くの人が訪れており、最近注目されている県北観光スポットのアクセスポイントとしての役割も果たせるでしょう。昨年には、常陸太田土木事務所管内の北沢トンネル(国道461号)が完成し、臨海部の国道6号から大子町の国道118号までの2車線の道路が結ばれ、肋骨道路整備の考え方が受け継がれ、さらに大きなものになっていくと思えます。

岩高秋土木事務所は、小牛橋と岩高橋の橋梁修繕工事を実施する。両橋梁工事を一括で発注する見込みで、9月までに一般競争入札での発注を予定。工期は7カ月を想定している。工事内容は、両橋梁とも断面修復工事を実施する予定。岩高橋は合せて支保

岩高秋土木事務所は、小牛橋と岩高橋の橋梁修繕工事を実施する。両橋梁工事を一括で発注する見込みで、9月までに一般競争入札での発注を予定。工期は7カ月を想定している。工事内容は、両橋梁とも断面修復工事を実施する予定。岩高橋は合せて支保

いばらきの公共事業を紐解く

山との調和を図り早期供用

山との調和を図り早期供用

山との調和を図り早期供用

山との調和を図り早期供用

山との調和を図り早期供用



いばらきの公共事業を紐解く
歴史をたどり、後世に残す
県土木部道路建設課編③

整備が大忙しの頃です。同時に東北振興のため「肋骨道路整備事業」が進められておりました。私はその名称もですが、プロジェクトのスケジュールの大きさにびっくりしました。臨海部の国道6号と内陸部の国道349号の間には、阿武隈高地があります。それを横断する5ルート6路線の国道は、同時進行で整備するというのです。南側から①国道日立常陸太田線②日立山方線③土里美線④高秋大子線(国道

補助事業になかなか馴染まないところは、県単独費が用意され、高秋土木事務所が肋骨道路対策室が設けられ、整備が進められました。私は長い間、この事業に携わったのです。土里美線では、土里交差点の調整があり、難航地帯には一緒に協力に合わせた進められたので、山との調和を図りながら、極力早く供用させるために坑道の間を通す計画で

建設業協会大子支部(大藤博文支部長)は、県常陸大子土木事務所協議室でこのほど、資源有効利用促進法の省令改正に伴う工事関係手続きに関する説明会を開催した。説明会には27人が参加。資源有効利用促進法の省令改正の概要などの説明を聞き、内容理解に努めた。説明会は、県土木部検査指導課の織笠幸子課長補佐(写真)と玉造秀典主任が担当。

建設発生土の搬出先の明確化等について」と題して、資源有効利用促進法の省令改正のきっかけや概要、改正に伴い発注者や受注者がやるべきことなどを解説した。

建設発生土の搬出先の明確化等について」と題して、資源有効利用促進法の省令改正のきっかけや概要、改正に伴い発注者や受注者がやるべきことなどを解説した。



した。当時のデータを分析し、コンサルタンต์を交えて土木事務所と何度も打ち合わせを行い、トンネル位置を決めた。高秋大子線には花貫溪谷があり、環境と景観に十分配慮しながら進められた。この路線は、途中で高秋市の国道6号から常陸太田市、大子町を経て栃木県日光市に至る。国道461号に格上げされた。懸案だった6号タツチの部分については、常磐線が国道6号の300m付近にあつたため、常磐線を立体で跨いでそのまま直線で6号にタツチできるまゝ直線で。色んな案を検討した結果、ルートを大幅に日立市側へふり、余裕をもって常磐線を跨いだ後、常磐線に平行して北上させ現道に戻す形になったのです。高秋橋梁は、常磐自動車道高秋1Cのアクセス道路となり、インターから6号までは高秋インター線となっており、この大きなプロジェクトは長い時間がかかりましたが、できあがって本当に良かったと思っております。

省令改正で概要など理解 資源有効利用促進法手続き 茨建協大子支部が説明会



建設発生土の搬出先の明確化等について」と題して、資源有効利用促進法の省令改正のきっかけや概要、改正に伴い発注者や受注者がやるべきことなどを解説した。

8月~9月にも工事発注 市道2路線道路舗装 《高萩市》

高萩市は、市道1592号線(上手細地区)と市道1661号線(下手細地区)の道路舗装工事を実施する。指名競争入札で、市道1592号線は8月中旬、市道1661号線は9月頃の入札を予定している。経年による劣化が見られるため、舗装工事を実施する。セメントラブルコンクリート機が担当した。女沼川の河川改修については、事業区間が約500m。このうち、下流部3700mを先行して整備している。

本年度に上部工公告 日下部橋 女沼川の橋梁架替 県境工事

県境土木事務所は、女沼川に架かる橋梁の架替工事を進めている。日下部橋の上部工は本年度中に一般競争入札を公告する予定。加耕地橋と北新田橋は、上部工の発注時期を2024年度以降で検討する。下部工は、加耕地橋を機軸として、女沼川で河川改修を行っており、これに伴い川幅が広がるため、各橋梁の架替工事を実施している。

日下部橋の構造は、上部工がポストアクション方式スラブ橋。新たな橋梁の規模は、橋長約31m、幅員約12m(両側歩道)を想定している。新橋梁の規模は、2橋とも橋長約26m、幅員約5m。上部工の構造はポストテンション方式PC単線バルブT桁橋を想定。既存橋梁の規模は、北新田橋が橋長約2.1m、幅員約1.9m。加耕地橋が橋長約4.9m、幅員2.4m。いずれも古河市前林地内で、女沼を跨いで架かる。日下部橋の北部に北新田橋、加耕地橋が架かっている。設計は、日下部橋を三井共同建設コンサルタンツ(株)、加耕地橋をサンコンコンサルタンツ(株)、北新田橋

植栽管理を3四半期 人工芝修繕は9月 県西土木

県西土木事務所は、県西総合公園(筑西市桑山2818)の公園施設長寿命化計画更新業務を、サンコンコンサルタンツ(株)に委託し、9月までに芝修繕工事を公告する。芝修繕工事は、9月までに芝修繕入札を公告する。さらに公園植栽管理工事は、第三四半期の公告を予定している。長寿命化計画は、5年に1回更新している。改めて園内で改修等が必要な場所を検討していく。テニスコートの人工芝修繕工事は、21年度より工事を進めるとしており、本年度での完了を

2橋一括で一般競争 断面修復工事を実施 県高萩工事

高萩土木事務所は、小牛橋と岩高橋の橋梁修繕工事を実施する。両橋梁工事を一括で発注する見込みで、9月までに一般競争入札での発注を予定。工期は7カ月を想定している。工事内容は、両橋梁とも断面修復工事を実施する予定。岩高橋は合せて支保

危険木処理業務 9月に一般公告 茨城森林管理署

茨城森林管理署は、2023年度その他役務の発注見通しを更新した。それに伴って、滝ノ沢国有林(十石堀)危険木処理業務の一

県土木部・幹部
きょうの動向
〇：不在 ●：不在

植栽管理については、樹木の伐採・剪定などを行う。工期は3カ月を見込む。県西総合公園は1992年に開園。テニスコートのほか、多目的運動広場やアスレチック広場、バーベキュー広場、野外ステージ、なども広場などの機能を有する。テニスコートの修繕など、公園施設長寿命化計画を基にした改修工事を進めている。